

長岡介護イノベーション・ハブについて

(1) 概要・目的

「イノベーション・ハブ」は、一般的には「幅広い分野の知恵や技術を有する、企業を中心とするイノベーションの主役が集う基盤」などを指す言葉ですが、技術の「使い手（介護施設等）」「作り手（ものづくり企業、IT・IoT企業、学生）」「つなぎ手（商社、金融機関、行政）」が参加し、介護分野の課題解決に取り組み、新しい産業を育てることを目的とします。

・介護現場の課題解決にむけたIT・IoT・ロボット導入支援等の取組みにより、地域の介護力（介護の質と量）の強化を目指す。

・介護現場課題解決に係わることを通し、IT・IoT業者、ものづくり企業等の介護分野という新たな事業展開、あるいは介護分野でのベンチャー企業の起業を促す。

(2) 取組内容

Step1 現場の課題をヒアリングして、課題を明確化する。

Step2 業界の常識の枠を超えた自由な発想で、意見・アイデアを出し合う。

Step3 実装に向けてアイデアを育てる。

Step4 実証実験を行い、精度を高める。

Step5 製品開発の出口として、既存企業の新事業展開やベンチャー企業による事業化を促す。

(3) 特徴

- ・学生を含む異業種を交えたオープンイノベーションであること
- ・試作品の製作にとどまらず、新たなビジネスの育成やベンチャー企業の創出を促すこと

(4) 活動日程・拠点

- ・日程

月1回、2時間程度

活動状況に応じてワーキンググループを作るなど、柔軟に運営する。

- ・拠点

NaDeC BASE（長岡市大手通2丁目3-1 旧大和長岡店1階）

(5) 代表者

木村 哲也 長岡技術科学大学大学院 システム安全 准教授

【研究分野】

レスキューロボット、サービスロボットの国際安全規格、
次世代ものづくり人材育成、空気圧システムの非線形型制御

【活動内容】

- ・地域企業（長岡鉄工業青年研究会）と共同でレスキューロボットを開発
2007、8年ロボカップオープンレスキューロボットリーグ日本大会連続優勝
2008年消防庁長官より感謝状
- ・長岡市小学生ロボコン、NHK学生ロボコンへの運営協力
（ロボカップ日本委員会委員：平成28年4月1日～平成29年3月31日）
- ・南相馬市にて活動中